2008年中堅・中小企業のERP利用シェアと評価調査報告

ノークリサーチ(本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705:代表:伊嶋謙二 TEL:03-5244-6691 URL: http://www.norkresearch.co.jp)は2008年の国内中堅・中小企業のERP導入状況に関する実態調査を実施し、その分析結果を発表した。なお、本リリースは「2008年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」のERP部分のみを抽出して速報としている。

<国産大手4社にSAPが割り込む大混戦のシェア争い>

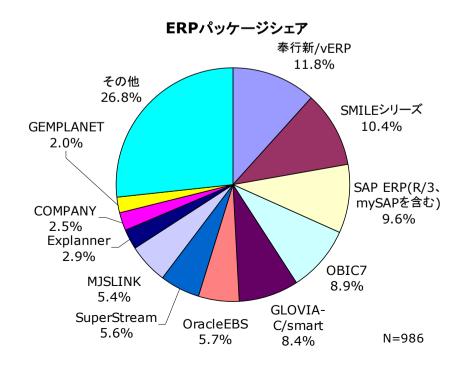
-- 外資系ベンダの中堅・中小向けパッケージ普及が注目ポイント--

- ー上位5社の大混戦変わらずだが、OBCとOSKの上位2社にSAPが急接近
- ー年商50億円未満の中小企業クラスではOSKとOBCが依然として強みを発揮
- ー利用予定はSAPジャパンとOSKが高ポイント、製品評価ではSAPジャパンがやや苦戦

ー上位5社の大混戦変わらずだが、OBCとOSKの上位2社にSAPが急接近

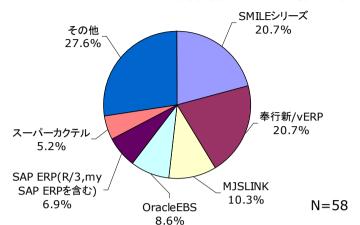
2007年まではOSKの「SMILEシリーズ(SMILE α 、SMILE BS、SMILE ie)」、OBCの「奉行新ERP(奉行vERPも含む)」、オービックの「OBIC7」、富士通の「GLOVIA」といった国産4強が上位を占める状況が続いたが、2008年はそこにSAPジャパンの「SAP ERP(R/3、my SAP ERPも含む)」が割り込む形となった。

SAPジャパンは「SAP Business All-in-One」と「SAP Business One」といった中堅・中小企業向けパッケージを提供しているが、調査実施段階の利用シェアには現れていない。大手企業との取引に際して「SAP ERP(R/3、my SAP ERPも含む)」が必要となったケースが多いと見られる。



ー年商50億円未満の中小企業クラスではOSKとOBCが依然として強みを発揮

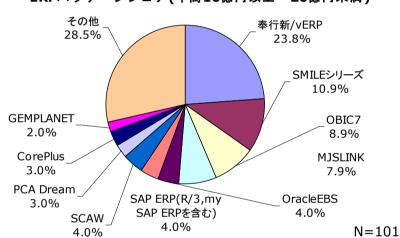
ERPパッケージシェア(年商5億円以上~10億円未満)



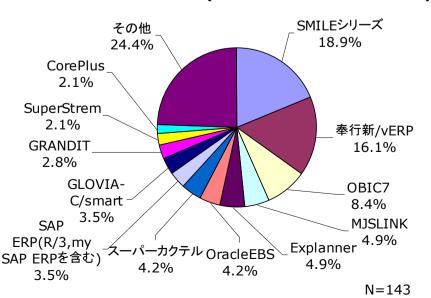
今後、SAPジャパンや日本オラクルが中堅・中小企業向けパッケージで中小企業クラス(年商5億円以上~50億円未満)に攻勢をかけてくることが予想されるが、中小企業クラスは国産ベンダ同士においても非常に激戦区である。年商5億円以上~10億円未満の区分ではOSKの「SMILEシリーズ」とOBCの「奉行新/VERP」が拮抗している。

ERPパッケージシェア(年商10億円以上~20億円未満)

年商10億円以上〜20億円未満と年商20億円 以上〜50億円未満の二区分においても、OSK とOBCが上位を占めている。前者ではOBC、 後者ではOSKが首位となっており、中小企業 クラスでの2社の強みが現れた結果となってい る。



ERPパッケージシェア(年商20億円以上~50億円未満)



日本でのERP導入はビッグバン導入とは対 照的に個々の業務アプリケーションを個別 に導入する形で発展してきた。今後、外資 系ベンダがそうした日本のERP導入事情を 踏まえた製品ラインアップを揃えられるか どうかが今後の注目ポイントといえる。

ー利用予定はSAPジャパンとOSKが高ポイント、製品評価ではSAPジャパンがやや苦戦

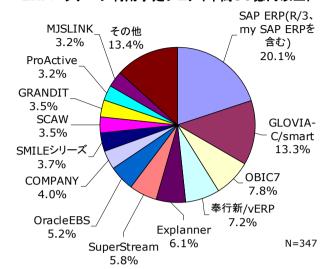
ERPパッケージ利用予定シェア(年商50億円未満)

SMILEシリーズ その他 18.4% 21.5% **SCAW** 3.1% **MJSLINK** 奉行新/vERP 3.7% 17.1% スーパーカクテル 4.9% GI OVIA-OBIC7 C/smart 4.9% SAP ERP(R/3, 11.6% my SAP ERP& PCADream21 含む)

9.3%

5.5%

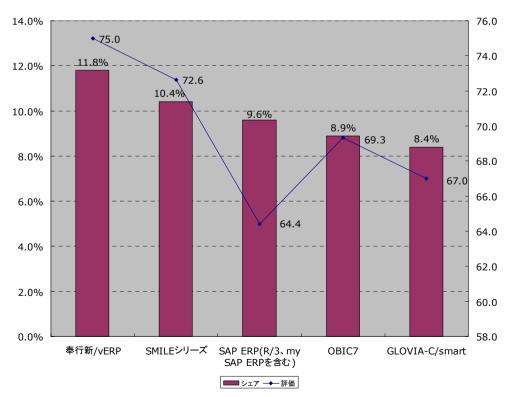
ERPパッケージ利用予定シェア(年商50億円以上)



今後の利用予定シェアでは年商50億円未満ではOSKの「SMILEシリーズ」、年商50億円以上ではSAPジャパンの「SAP ERP(R/3、my SAP ERPも含む)」が首位となっている。中小企業向けに2008年6月に出荷した「SMILE BS」が2008年後半以降に実績数値として現れ始めると予想される。

N=163

ERPパッケージシェアと評価



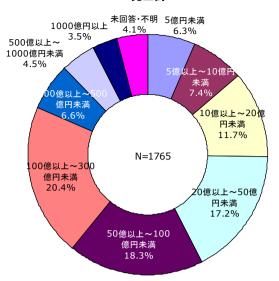
パッケージシェアと評価を対比させると、SAPジャパンに関しては利用予定シェアで首位を獲得している一方で、評価については他の利用シェア上位パッケージと比較するとやや低くなっている。

現在導入されているものが大企業向け製品ラインアップであるため、中 堅・中小企業向けの最適化がなされていないことが主な要因と考えられる。

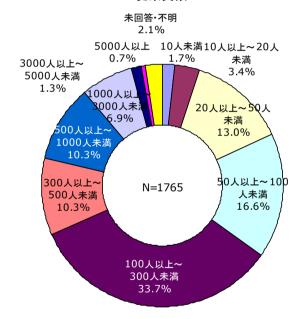
トータルコストや所要期間を短縮した「SAP Business All-in-One FAST-START PROGRAM」によって利用シェア上位の国産ベンダに匹敵する高い評価を獲得できるかどうかが今後の注目ポイントである。

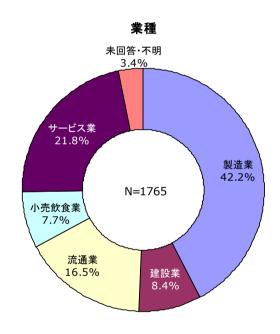
- 回答者属性-





従業員数





対象企業 年商5億円から500億円を目安とした民間企業

対象地域 全国

対象の選定 弊社所有の企業データベースから抽出する

サンプル数 中堅・中小企業約7,000社対象(有効回収票1,765件)

調査期間 2008年6月~9月

当調査データに関するお問い合わせ

NORK RESEARCH

株式会社 ノークリサーチ 担当:岩上 由高 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705 TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692 inform@norkresearch.co.jp www.norkresearch.co.jp